



# 第225回生存圏シンポジウム



## 衛星測位データの有効活用に関する 検討ワークショップ

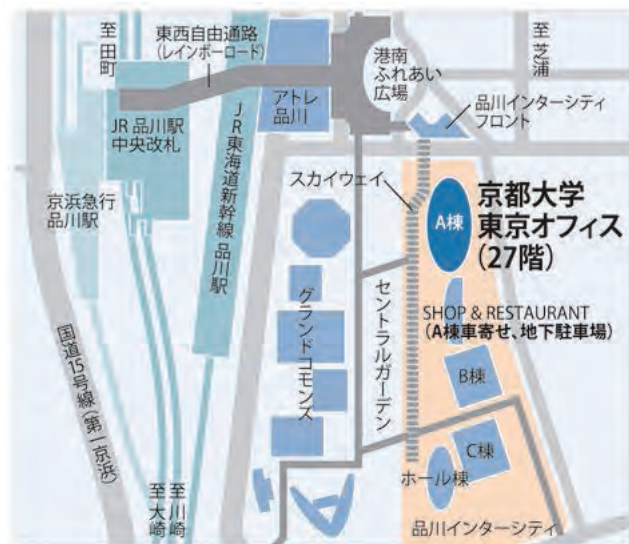


日時：平成25年2月21日（木）13時00分～

場所：京都大学東京オフィス

第1会議室  
（品川駅港南口徒歩5分）

問い合わせ先：  
京都大学学際融合教育研究推進センター  
極端気象適応社会教育ユニット  
佐藤 一敏  
Tel: 0774-38-3825



## 第225回生存圏シンポジウム「衛星測位データの有効活用に関する検討ワークショップ」

### プログラム

日時： 平成25年2月21日(火) 13:00~17:25

場所： 京都大学東京オフィス 第1会議室 (品川駅港南口徒歩5分)

---

13:00-13:05	佐藤一敏 オープニング・趣旨説明
13:05-13:23	館下博昭(JAXA) 複数GNSS観測ネットワークおよび複数GNSS対応高精度軌道時刻推定ツール(MADCOA)の整備状況について
13:23-13:41	Eugenio Realini, Toshitaka Tsuda, Kazutoshi Sato, Masanori Oigawa, Yuya Iwaki (RISH, Kyoto Univ.), Yoshinori Shoji, Hiromu Seko, Takuya Kawabata (MRI-JMA) Precipitable water vapor retrieval using QZSS
13:41-13:59	岩城悠也・津田敏隆・佐藤一敏・Eugenio Realini・大井川正憲(京大RISH) 稠密GPS受信ネットワークによる集中豪雨監視システムの電離層補正に関する基礎研究
13:59-14:17	大井川正憲・津田敏隆(京大RISH), 瀬古弘・川畑拓矢(気象研究所) 非静力学モデルを用いた集中豪雨時のGPS可降水量変動特性に関する研究
14:17-14:35	佐藤一敏(京大国際融合), 津田敏隆(京大RISH), Susilo(インドネシア測量地図庁), Timbul Manik(インドネシア航空宇宙庁) インドネシアのGPS観測網を利用した可降水量精度検証実験
14:35-14:53	藤田実季子(JAMSTEC), 岩淵哲也・Christian Rocken(GPS Solutions, Inc.) 可降水量データセット(GRASP)の紹介とアジア域の可降水量変動
14:53-15:11	岩淵哲也(GPS Solutions, Inc.) マルチGNSSリアルタイム解析による地球環境の連続監視
休憩(19分)	
15:30-15:48	小司禎教(気象研究所) GPSによる水蒸気非一様性の解析
15:48-16:06	瀬古弘(気象研究所) ドップラーレーダの位相情報を用いた水蒸気推定
16:06-16:24	大和田浩美・吉本浩一(気象庁数値予報課) 気象庁全球解析におけるGNSS掩蔽観測データの利用
16:24-16:42	斎藤享・吉原貴之・星野尾一郎(ENRI) 電子航法研究所におけるGNSS電離圏観測と国際民間航空機関(ICAO)における電離圏データの収集・共有活動について
16:42-17:00	大松直貴・大塚雄一・塩川和夫(名大STE研), 斎藤享(ENRI) GPSを用いた電離圏擾乱の観測及び航空航法支援システムに対する影響評価
17:00-17:18	津川卓也・西岡未知(NICT), 斎藤昭則(京大理), 大塚雄一(名大STE研), 斎藤享(ENRI) Dense Regional and Worldwide International GNSS-TEC observation (DRAWING-TEC) project
17:18-17:25	津田敏隆 クロージング

---

※参加希望の方は受付の混雑緩和のため、事前登録をお願いいたします。

氏名・所属・メールアドレスをお問い合わせ先のメール宛にご連絡ください。

※当日の会場への入場には身分証の提示が必要になりますので、必ずご持参ください。

※発表時間は15分、質疑応答を3分としてプログラムを作成しています。

お問い合わせ先

佐藤一敏(京都大学学際融合教育研究推進センター・極端気象適応社会教育ユニット)

Tel: 0774-38-3825 E-mail: sato.kazutoshi.5w@kyoto-u.ac.jp